

2014年(平成26年)11月20日(木曜日)

農業の本に囲まれ 老若男女が交流会

東京

農業の本に囲まれながら都会の老若男女が交流するための音楽会や絵画展、写真展などの企画が、東京都千代田区の書店「農文協・農業書センター」で随時開催されている。

同店は、初心者向けのガーデニングの本から本格的な野菜作りの指南書まで農業関係の約3万冊を扱う。10月には「伝統

音楽の夕べ」と題して音楽会を開き、30人以上が集まった。「農的社会的デザイン研究所」代表で、

海外での和楽器公演などで活躍する葛谷栄一さんが全10曲を披露した。

篠笛で「津軽山唄しんがうたによる幻想」をしつとりと聴かせた葛谷さんは「青森県五所川原市に行ったときの自然の情景を伝えら

れたら」と笑顔。聴き手の心には、田園風景の中で輝く月が浮かび上がったよつで、温かい拍手を集めた。



葛谷栄一さん(右)と政子さんの夫妻が篠笛演奏を披露した。東京都千代田区の農文協・農業書センター

同店長の荒井操さんは「プロの農家やこれから家庭菜園を始めたい人をはじめ、いろいろなお客さんが来てくれる。皆さんの情報交換の場にした」と話している。問い合わせは農業書センター、03(6261)4760。